

林業普及指導員の「木材利用推進」情報

■北海道（総合）振興局森林室に勤務する林業普及指導員からの情報です

「道南の森と住まいをつなぐバスツアー」の開催

渡島総合振興局東部森林室普及課

【取組の目的】

道南地域では、古くからスギが植栽されており、現在、スギ人工林の多くが利用期を迎えています。生産される道南スギの多くは道外に移出されている現状にあります。このことから、当普及課では、建築関係11社で構成する「地域材で家を建てる・道南材の利用促進を考える会」と連携を図りながら、「地材地消」の推進に取り組んでいます。

この取組の一環として、今回で5回目となる「道南の森と住まいをつなぐバスツアー」を開催したので紹介します。

【バスツアーの概要】

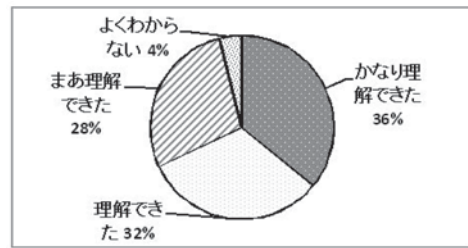
- 開催日：平成24年10月20日（土）
- 開催場所：北斗市・森町・函館市
- 主催：地域材で家を建てる・道南材の利用促進を考える会
- 共催：渡島総合振興局東部森林室
- 参加者：一般住民等32名
- 内容

- ①スギ苗畑の見学（北斗市）
スギ育苗の現状と生産技術について
- ②スギ人工林の見学（北斗市）
森林の役割と優良スギ高齢級人工林について
- ③木材加工場の見学（森町）
製材やプレカットの加工工程について
- ④モデルハウスの見学（函館市）
内外装に道南スギを使用した住宅について
- ⑤バス車内での情報提供
木材利用の効用と「地材地消」について
- ⑥参加者へのアンケート調査の実施
「地材地消」や木造住宅等に関するアンケートの実施

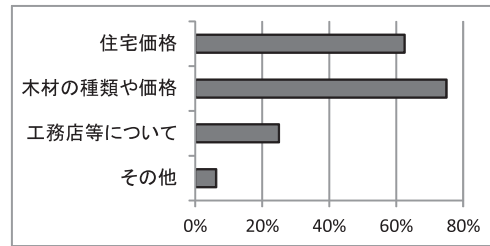
【アンケート調査結果】

[回答者数29名、回収率91%]

- 男女比 男性38%, 女性62%
- 年齢 平均64歳（30～80歳代）
- 「地材地消」の理解



- 木材をふんだんに使用した家について
建てたいと思う95%, 建てたいと思わない5%
- 木造住宅に関する欲しい情報（複数回答）



【取組の成果】

今回のバスツアーで道南スギの育苗から地域材利用までの流れを見学したことにより、参加者から「スギが身近に感じるようになった」「スギをたくさん使った家は素敵だ」などの意見があるなど、地材地消への意識の向上が図られました。

【今後の取組】

道南スギの利用促進を図るため、今後も「地域材で家を建てる・道南材の利用促進を考える会」と連携を行い、関係行事及びパンフレット等を通じて「地材地消」の推進を図っていきます。



スギ人工林(69年生)の見学



木材加工場の見学



モデルハウスの見学



地材地消等の情報提供